ひょうごらくのうメモ 6

2020 JUN

発行：兵庫県酪農農業協同組合
神戸市西区伊川谷町潤和１０５８
西神文化センター３階

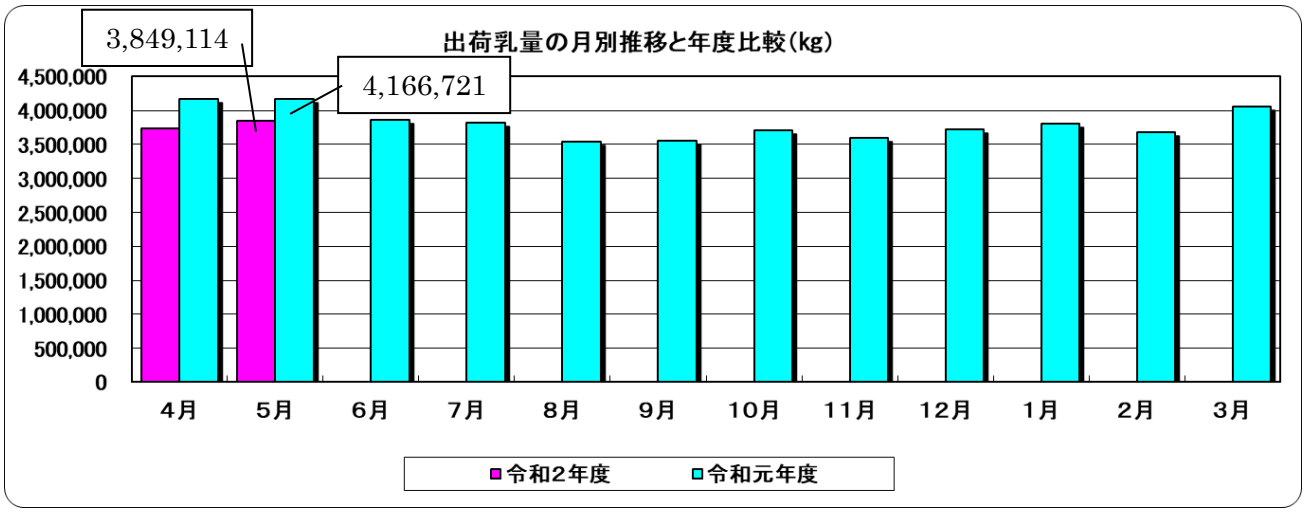
生乳生産量統計

１．全国（令和２年４月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
令和　２年　４月	６３４．０	１０１．９
令和　２年　５月		
令和　２年　６月		
令和　２年　７月		
令和　２年　８月		
令和　２年　９月		
令和　２年１０月		
令和　２年１１月		
令和　２年１２月		
令和　３年　１月		
令和　３年　２月		
令和　３年　３月		
令和　２年度累計	６３４．０	１０１．９

２．兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地　　区	令和　２年　５月		年度累計		出荷農家戸　数
	生乳生産量（ｋｇ）	対前年比（%）	生乳生産量（ｋｇ）	対前年比（%）	
阪神地区	668,311	103. 0	1,305,710	100. 9	23
播州地区	893,281	75. 9	1,752,248	74. 4	34
丹但地区	351,592	94. 1	695,464	92. 2	17
淡路地区	1,935,930	98. 4	3,815,847	97. 3	108
合　　計	3,849,114	92. 4	7,579,269	90. 9	182



理事会報告

第２回理事会

令和２年５月２８日（木）、西神文化センター２０２号室において、令和２年度第２回理事会を理事６名出席、監事２名同席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和２年度生乳計画生産進捗状況、令和元年度加工原料乳生産者補給金の支払いについて報告。次の事項について協議を行った。

①令和元年度事業報告並びに収支決算について
業務報告書を基に各事業の実施状況、決算状況、剰余金処分案を確認、監査報告を受け令和元年度事業並びに決算について承認された。

②令和２年度事業計画並びに収支予算について
前回、前々回より収支計画の設定について協議を重ねてきたが決定に至らず次回理事会へ継続とした。

③第５回通常総会の提出議案について
収支計画及び次期役員候補者の推薦が遅れており、次回理事会へ持ち越し最終決定することとした。

④総会運営について
第５回の総会運用の確認、来賓者の選考、会場設営案等協議を行った。新型コロナウイルス感染防止を踏まえそれぞれ対策を確認、来賓者についても最少で行うこととした。

⑤地区別懇談会について
管内３か所において懇談会を開催することとし、日程並びに会場を決定した。

⑥借入金最高限度額及び余裕金の運用について
当年の借入金の最高限度額を１億円、また運用、預け先等については定款に基づき県信連をはじめ取引銀行とした。

⑦令和２年度酪農経営支援総合対策事業（酪農経営安定化支援ヘルパー事業）要領の承認について
畜産振興機構からの要領変更を受け、本県同事業実施要領も併せて変更を加え要領の承認を行った。

⑧新規組合員加入申込みの承認について
組合員加入の申し込みを受け申込みの承認を行った。
その他として、今回役員推薦会議からの要望を受け、役員の受け手が敬遠される現状に管内遠距離からの理事会等出席の負担を軽減するため WEB 会議の導入等検討して行くことを協議した。

第３回理事会

令和２年６月８日（月）第３回理事会を理事６名出席のもと開催し、令和元年度増産対策奨励金の交付について報告の後、前回からの継続協議議案等、次の事項について協議決定を行った。

①役員の選任について
推薦会議より役員候補者推薦書を受け次期役員候補者を承認した。

②令和２年度事業計画並びに収支予算について
継続審議していた収支計画を最終決定した。

③第５回通常総会提出議案について
それぞれ議案内容が固まったことにより今回提出する議案の決定を行った。

④酪農経営災害緊急支援対策事業（非常用電源の整備）にかかる役員の事業参加の承認について
役員が組合と契約する事業について利益相反の観点から理事会によって承認を得ることが必要なため、関係以外の役員により参加について協議承認された。

乳質改善と牛群の健康管理について

全国酪農業協同組合連合会大阪支所
近畿事務所　　木　原　　平

いつもお世話になっております。兵庫県担当となって４年目になります全酪連の木原です。今回は、兵庫県酪農協による乳質改善施策にのっとり「ビプロ　ソマテックＡＥ１０００」の製品紹介及び有効利用について情報提供させていただきます。この企画を通して、兵庫県酪農協ともに皆様の良質な乳生産と収益向上に寄与できれば幸いです。

１．乳質と「ソマテックＡＥ１０００」

体細胞は、ソマテックセルとも言い、乳中の白血球と乳腺上皮細胞を総称したものです。この数値が高いと、衛生的乳質に課題があるとされます。今回紹介する製品「ビプロ　ソマテックＡＥ１０００」は衛生的乳質が気になる際にご活用いただけるものです。

では、なぜソマテックが体細胞数低減に期待できるのか？製品内容からメカニズムを分析してみましょう。

■配合されているビタミンの役割

◎ビタミンＡ：生殖機能維持、上皮細胞の正常化に関係するので、不足は骨や歯の発育不全、皮膚や粘膜上皮の角質化を招き、細菌への抵抗力の低下につながる。

◎ビタミンＥ：抗酸化作用がある。ビタミンＡやカロチノイドなど他の抗酸化物質の酸化を防ぐ。これにより、細胞の正常性を維持する。

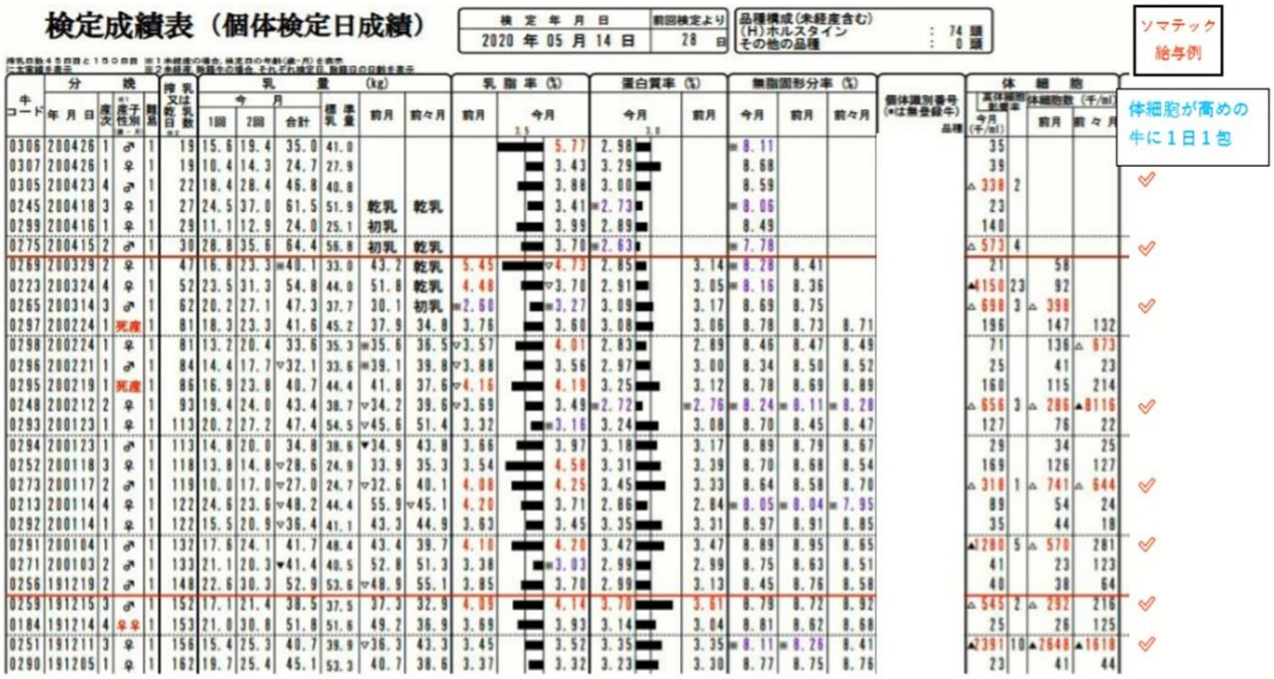
（図１）　ビタミン製品比較

（図１）は、日産合成工業（株）と本会が供給しているカプセル型のビタミンとの製品比較です。ソマテックＡＥ１０００はビタミンＡ・Ｅの含有量に特化しており、１包の給与により高単位のビタミンＡ・Ｅを給与する事ができます。
ソマテックＡＥ１０００を有効活用する事で衛生的乳質の低下に備えましょう！

２．問題牛の早期発見　～牛群検定の活用～

みなさんはどのタイミングで衛生的乳質の低下リスクがある牛を発見していますか？「いかに初期の段階で乳質低下リスクのある牛を見つける事ができるか」が非常に重要になります。発見が遅れれば遅れるほど、牛の生産性にも甚大な影響をもたらすかが容易に想像できます。

その発見法の一つとして牛群検定成績のデータ利用を紹介します（参考資料１）。牛群検定→個体成績→体細胞数をチェックし、写真のメモの通り体細胞数の気になる牛にソマテックを給与していきます。非常に分かりやすく実践しやすい内容となっておりますので、資料を参考にぜひ皆様の牧場でも活用してみてください。



（参考資料１）　体細胞コントロール　牛群検定活用例

さて、今回は乳質改善とそれに伴った牛群の健康管理についてお話させていただきました。暑い日が始まり免疫力も低下しやすい時期となりました。ビタミンを活用することで牛をより健康に飼養して牧場の発展・良質な生乳生産を目指していきましょう！

なお、全酪連では独自の牛群検定検証システム（参考資料２）を用いて飼料給与改善や乳質改善等のサポートも実施させていただいております。ご希望の方には皆様の牧場まで伺い詳しくご説明、ご提案をさせていただきますので、お気軽に全酪連スタッフまでお声かけください。

懸念状況	牛ｺｰﾄﾞ	個体識別番号			産次	産子性別	分娩日	搾乳日数	乳量(Kg)	F%	乳量(Kg)	P%	SNF%	SCC	MUN	P/F	料給	BCS	妊娠	授精回数	最終授精日
					3	♂	2019/06/17	12	15.5	4.61	16.5	4.27	9.93	156	6.1	0.93	7.0	3.00		0	
					2	♀	2019/06/16	13	32.2	4.91	34.5	3.69	9.43	15	9.7	0.75	9.0	3.00		0	
					2	♀	2019/06/09	20	34.8	3.92	39.0	3.09	8.70	11	7.6	0.79	10.0	3.00		0	
DMI不足懸念					2	♀	2019/05/29	31	26.0	3.39	31.0	2.70	8.09	29	11.1	0.80	11.5	3.00		0	
					1	♂	2019/05/01	59	34.1	4.23	32.4	3.04	8.86	17	11.6	0.72	11.0	3.00		0	
DMI不足懸念					1	♀	2019/04/23	67	37.8	3.44	35.1	2.89	8.41	24	11.7	0.84	12.0	3.00		0	
DMI不足懸念					3	♂	2019/04/10	80	34.2	4.29	40.4	2.77	8.15	4	9.1	0.65	13.0	3.00		0	
DMI不足懸念					4	♂	2019/04/09	81	27.5	3.97	31.9	2.98	8.44	7	12.0	0.75	12.0	3.00		0	
DMI不足懸念					3	♀	2019/01/20	160	26.2	3.59	27.0	2.84	8.32	53	8.6	0.79	11.0	3.00		0	
					3	♂	2018/12/29	182												0	
					1	♂	2018/12/28	183	23.3	5.07	20.9	3.37	9.03	15	7.4	0.66	7.5	3.00		3	2019/05/17
					6	♂	2018/12/21	190	30.3	3.72	28.2	3.14	8.40	13	10.3	0.84	12.0	3.00		0	
ｱｼﾄﾞｰｼｽ懸念					2	♀	2018/11/23	218	37.7	2.97	32.9	3.13	8.78	27	10.8	1.05	12.0	3.00	+	5	2019/04/15
DMI不足懸念					3	♀	2018/11/04	237	24.3	3.48	20.0	2.88	7.92	51	8.5	0.83	7.0	3.00		3	2019/05/26
					3	♂	2018/11/04	237	30.7	4.06	25.9	3.56	8.96	765	11.7	0.88	8.0	3.00		2	2019/05/17
					2	♀	2018/10/24	248	31.9	3.71	25.2	3.62	8.86	114	9.0	0.98	8.0	3.00		4	2019/06/10
					3	♂♀	2018/10/17	255	26.5	3.84	20.5	3.55	8.69	1230	8.1	0.92	9.0	3.00	+	2	2019/03/18
					2	♀	2018/10/12	260	35.0	3.51	27.0	3.48	8.89	81	9.5	0.99	8.0	3.00	+	1	2019/01/06
					3	♂	2018/10/09	263	27.6	4.06	20.8	3.54	9.15	14	8.4	0.87	9.0	3.00	+	1	2019/02/13
					1	♀	2018/09/26	276	30.6	5.97	22.7	4.06	9.35	18	8.6	0.68	7.5	3.00		3	2019/04/21
ｱｼﾄﾞｰｼｽ懸念					4	♂	2018/09/24	278	44.6	3.09	34.4	3.26	8.88	12	9.8	1.05	11.5	3.00		0	
ｱｼﾄﾞｰｼｽ懸念					5	♀	2018/09/21	281	47.0	3.17	36.4	3.13	8.21	1707	8.6	0.99	11.5	3.00	+	3	2019/02/17
ｱｼﾄﾞｰｼｽ懸念					3	♀	2018/08/25	308	29.8	3.10	20.1	3.02	8.03	132	9.7	0.97	7.0	3.00		8	2019/05/06
					1	♂	2018/08/17	316											+	1	2018/10/18
					2	♂	2018/07/25	339	29.7	3.81	18.7	3.41	8.69	87	8.0	0.90	6.0	3.00	+	3	2019/01/06
ｱｼﾄﾞｰｼｽ懸念					3	♀	2018/07/23	341	31.9	3.27	20.7	3.29	8.60	78	9.9	1.07	7.0	3.00	+	5	2019/03/20
DMI不足懸念					4	♀	2018/07/20	344	41.0	4.34	27.8	2.99	8.69	26	10.5	0.69	10.0	3.00	+	5	2019/01/13
					2	♂	2018/07/12	352	28.4	4.32	16.8	3.70	8.81	212	11.0	0.86	2.0	3.00	+	1	2018/11/22
					1	♀	2018/07/01	363											+	4	2018/11/02
					1	♀	2018/06/30	364	37.2	3.68	25.7	3.22	9.02	40	10.3	0.88	8.0	3.00	+	4	2019/02/08
					1	♀	2018/06/22	372											+	2	2018/10/04
					1	♀	2018/04/15	440	27.8	3.95	17.8	4.09	9.90	49	8.2	1.04	12.0	3.00	+	4	2019/03/30

- 乳脂肪3.4以下
- 疾病が回復していない　分娩後300日以下乳量20KG以下
- 乳蛋白3．0以下
- P/F比0．7以下
- P/F比1．0以上
- 無脂固形8．5以下
- 体細胞50万以上
- MUN16以上

初産・5産以上赤字提示
双子・死産等赤字提示
初産と5産以上乳量35KG以上青字提示　　2産以上乳量40KG以上青字提示
標準乳量　31.6 kg以下

泌乳初期でのDMI不足が初回発情発見遅延につながっている可能性があります。
泌乳後期での乳脂肪低下が多く粗飼料の食い込ませと量に応じた配合飼料の調整が必要かと思います。（粗飼料：濃厚飼料＝4：6を上限に調整してみましょう　上限例：粗飼料：濃厚飼料＝12kg：18kg）

全酪連　木原

（参考資料２）　全酪連　牛群検定検証システム

淡路家畜市場情報

令和2年5月9日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	16	161,356	199,100	72,600			56		
		前回	16	167,475	201,300	5,500			55	−6,119	−3.7%
		前年	10	380,592	401,760	354,240			55	−219,236	−57.6%
	オス	今回	13	257,400	280,500	210,100			56		
		前回	14	203,971	287,100	115,500			56	53,429	26.2%
		前年	16	389,745	433,080	249,480			56	−132,345	−34.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回	1	82,500	82,500	82,500			59	−82,500	−100.0%
		前年									
	オス	今回	3	113,300	132,000	95,700			59		
		前回	5	114,180	128,700	102,300			54	−880	−0.8%
		前年	10	147,852	183,600	69,120			51	−34,552	−23.4%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

＊前回は令和2年4月25日・前年は令和1年5月9日

令和2年5月25日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	14	211,514	273,900	92,400			57		
		前回	16	161,356	199,100	72,600			56	50,158	31.1%
		前年	8	321,975	388,800	1,080			57	−110,461	−34.3%
	オス	今回	20	262,900	331,100	23,100			55		
		前回	13	257,400	280,500	210,100			56	5,500	2.1%
		前年	10	408,456	441,720	319,680			56	−145,556	−35.6%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	3	79,933	104,500	33,000			49		
		前回	3	113,300	132,000	95,700			59	−33,367	−29.5%
		前年	10	159,516	195,480	51,840			52	−79,583	−49.9%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

＊前回は令和2年5月9日・前年は令和1年5月25日

隣県家畜市場情報

乳用種（雄のみ）

年	月	岡山総合 平均価格	岡山総合 取引頭数	広島・三次 平均価格	広島・三次 取引頭数	徳島畜産ｾﾝﾀｰ 平均価格	徳島畜産ｾﾝﾀｰ 取引頭数	平均・合計（全国） 平均価格	平均・合計（全国） 取引頭数
29年次		92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536
30年次		114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027
元年次		70,885	965	98,240	1,509	259,810	324	74,068	101,375
元	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6	150,840	45	170,586	80	140,498	11	141,101	7,293
	7	141,452	76	151,626	114	148,163	16	134,807	9,403
	8	104,232	88	122,523	172	87,246	37	109,114	9,293
	9	91,330	85	95,559	127	67,068	20	103,513	8,950
	10	82,040	122	75,136	167	65,511	36	94,142	9,866
	11	84,258	87	85,333	132	82,847	38	104,394	8,138
	12	88,066	83	85,149	120	67,384	31	104,367	8,270
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2	96,692	71	84,897	123	65,956	25	116,657	7,445
	3	95,530	84	72,800	99	56,203	32	127,152	8,407
	4	106,801	76	89,371	138	83,952	25	112,406	7,965
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年	月	岡山総合 平均価格	岡山総合 取引頭数	広島・三次 平均価格	広島・三次 取引頭数	徳島畜産センター 平均価格	徳島畜産センター 取引頭数	均・合計（全国） 平均価格	均・合計（全国） 取引頭数
29年次		266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761
30年次		265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900
元年次		231,312	4,603	315,474	4,355	417,230	1,764	212,359	150,447
元	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6	380,866	248	373,227	298	409,417	111	321,745	10,430
	7	367,992	409	373,248	280	419,466	109	322,123	12,229
	8	325,819	408	311,976	451	377,289	129	281,821	12,799
	9	273,749	488	247,863	400	305,611	147	257,885	13,184
	10	252,165	457	242,155	425	294,762	147	240,944	14,517
	11	258,193	444	236,865	371	283,248	211	233,550	13,315
	12	261,363	503	242,522	388	292,567	166	232,958	13,969
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2	240,332	538	222,488	359	257,248	173	227,973	13,156
	3	195,549	683	182,171	323	217,338	195	213626.43	14189
	4	220,787	488	208,505	391	227,987	169	204338.59	13884
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※　生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

令和2年5月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（ﾎﾙ・ﾎ系・他）				初妊牛（ﾎﾙ・ﾎ系・他）				経産牛（ﾎﾙ・ﾎ系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十　勝	5/7	493	646	95	460								
南北海道	5/9	64	573	229	412	92	924	496	750	15	520	252	436
十　勝	5/12					418	1,092	277	773	59	926	176	528
釧　路	5/13					198	979	550	715	8	547	224	416
根　室	5/14					330	937	277	722				
北　見	5/15					214	997	448	732	4	462	277	392
豊　富	5/21					242	952	234	726	6	482	204	395
十　勝	5/27					443	1,316	408	789	78	931	173	487
豊　富	5/29	182	595	168	454								
合計	9回	739	646	95	455	1,937	1,316	234	750	170	931	173	488
前年同月成績	9回	626	706	68	473	1,661	1,246	102	806	162	919	96	438
前月合計成績	10回	933	685	176	491	2,327	1,861	389	796	179	928	127	454

ホクレン乳牛市場開催日程

6月　3日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	（音　更）育成	7月　2日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	（音　更）育成
6月　5日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	（安　平）	7月　3日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	（安　平）
6月　8日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	（中標津）	7月　6日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	（佐呂間）
6月　9日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	（大楽毛）	7月　7日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	（音　更）
6月 10日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	（佐呂間）	7月　8日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	（大楽毛）
6月 11日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	（音　更）	7月　9日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	（中標津）
6月 18日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	（豊　富）	7月 16日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	（豊　富）
6月 29日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	（大楽毛）育成	7月 31日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	（安　平）

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所　酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所　酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所　酪農課	0155-23-4130
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所　酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所　酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所　酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北　海　道　乳　牛　産　地　情　報

(令和２年６月１日現在)

事務所	畜　　種	相場（万円）	価格状況	管　　内　　状　　況
札幌管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	３８～４５ ６７～７７ ４５～５５	やや弱含み 弱含み 弱含み	札幌管内の５月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で103.9%、累計で104.8%、苫小牧管内月計で101.7%、累計で102.0%の実績となっております。 ６月の初妊牛動向といたしまして、８月分娩が中心となります。４月の管内乳牛市場相場が大幅に下落したため、５月市場の相場はやや値を戻す展開となりました。しかしながら、夏分娩が主となる６月の乳牛市場につきましては、再び相場が下がる展開を予想しております。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、オーダーがありましたらお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
釧路管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	４０～４７ ７２～８２ ４０～５０	やや弱含み 横這い 弱含み	根釧管内の５月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.1%、累計で102.5%、中標津管内月計で103.8%、累計で104.0%の実績となっております。 ６月の初妊牛動向といたしまして、８月分娩が中心となります。５月の管内乳牛市場の平均価格はやや弱含みで推移したものの、中クラス以上の牛は一定の高値を維持しております。そのため、中クラス以上の購買を主とする庭先購買においては、夏分娩となっても価格は横這いで推移するものと思われます。庭先購買における腹別の価格動向といたしましては、F1腹・雌雄選別腹の価格差はなくなっており、和牛受精卵移植腹は軟調な動きを見せております。経産牛については、軟調に推移するものと思われます。
帯広管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	４０～４７ ７０～８０ ４５～５５	やや弱含み 弱含み 弱含み	帯広管内の５月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で102.7%、累計で103.2%の実績となっております。 ６月の初妊牛動向といたしまして、８月～９月分娩が中心となります。５月管内乳牛市場は他の地域同様に夏分娩の上場が多く、弱含みの相場となりました。６月においても、夏分娩の上場が主となるため初妊牛の価格と同様に、育成牛・経産牛につきましても、弱含みの相場になるものと思われます。また、管内の乳牛市場が６月から８月まで毎月１回の開催となり、市場の出品頭数が多くなることから、秋分娩までは相場が軟調に推移すると予想されます。初妊牛資源につきましては、F1腹・雌雄選別腹のどちらも例年通りの頭数は確保出来る状況となっております。
道北管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	４０～４８ ７０～８０ ４２～５２	やや弱含み やや弱含み やや弱含み	道北管内の５月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.5%、累計で101.7%、北見管内では月計で103.1%、累計で103.2%の実績となっております。 ６月の初妊牛動向といたしまして、８月分娩が中心となります。夏分娩が中心となりますが、道内の新規・規模拡大需要が一定数いるため、相場としては前月並みで推移するものと思われます。資源としてはF1腹・雌雄選別腹ともに前年並みの確保が出来ると思われます。育成牛・経産牛の価格につきましては、引合いも落ち着いてきているため、やや弱含みで推移すると思われます。情勢によっては急な相場変化もあり得るため、購買をご計画の際はお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
道内総括	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	４０～５０ ７０～８０ ４２～５２	やや弱含み 弱含み やや弱含み	道内の５月中旬までの生乳生産量前年比は102.8%、累計で103.1%の実績となっております。道内では夏季放牧も始まり、１番草の収穫もいよいよスタートする時期となって参りました。 ６月の初妊牛動向といたしまして、８月～９月分娩中心となります。各管内、夏分娩により軟調な相場が予想され、弊会庭先購買における中クラス程度の価格は、70万円台前半で推移するものと思われます。初妊牛の資源は十分確保出来るものと考えられますが、腹別での価格差は無くなってきております。相場動向を注視しながら庭先選畜購買を中心に安定した搾乳用素牛を供給して参りますので、導入のご計画がございましたら、お早目に弊会担当者までご連絡いただきますようお願いいたします。

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

札　幌　支　所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所　☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所　☎(0153)76-1877
帯広事務所　☎(0155)37-6051
道北事務所　☎(01654)2-2368

令和２年６月１０日

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

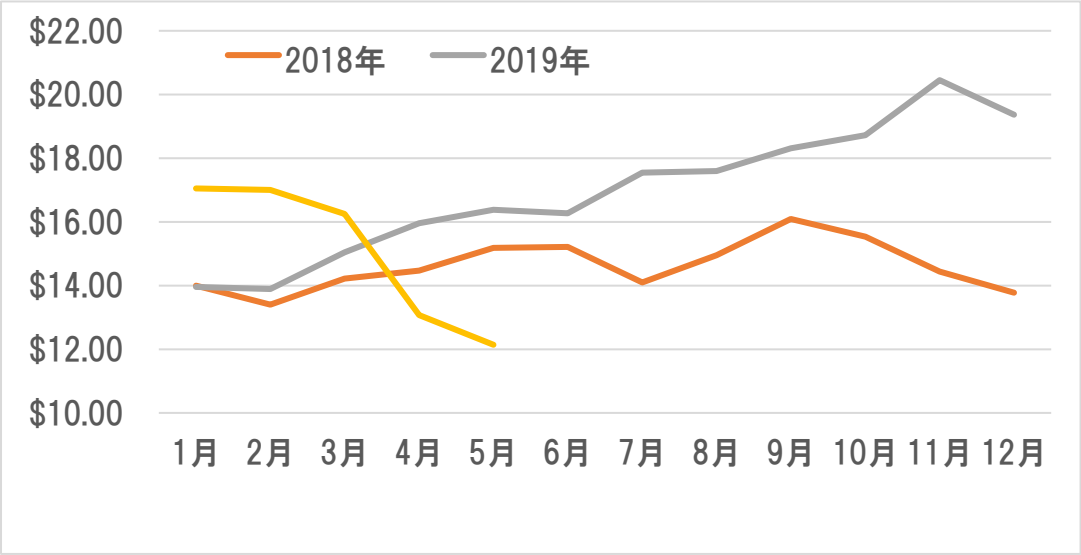
北米コンテナ船情勢

６月に各船社で予定されておりましたGRI（運賃一斉値上げ）は７月以降へと延期されています。また原油価格の下落に伴い、一部の船社では Low Sulphur Fuel Compliance Charge（低硫黄燃料追加料金)などの各種サーチャージを減額していますが、この３ヶ月間で上がった運賃の値上げ幅はカバーできていません。

中国から北米向けの輸出量は徐々に回復傾向にありますが、COVID-19 発生前の水準には戻っていない状況です。船社によっては引き続き７－９月も中国-北米間のサービスの減便を発表しています。このため、運航を続けるサービスに予約が集中しています。特にシアトル・タコマ港からのサービスの船腹は引き続き逼迫しており予約の取得が難しい状況が続いています。

米国乳価状況

６月３日にUSDA（米国農務省）が発表した５月の全米平均クラスⅢ乳価は、国内及び世界的乳製品の需要減少を受け１００ポンドあたり＄１２．１４と前月比７％下落しています。しかし直近では米国内の減産政策やUSDAの乳製品の買い支えもあり乳価は上昇基調にあります。



（出典：USDA　全米平均クラスⅢ乳価　単位：米国ドル/１００ポンド）

ビートパルプ

【米国】

北中西部では２０年産ビートの播種は概ね終了しています。ミネソタ州では順調に播種が進み降雨や凍結のダメージを回避できました。ミシガン州では播種を終え通常通り生育しておりますが、ダムが決壊し一部の地域で洪水被害を受けており、ビート圃場では当該地域の約１０％で被害が出ています。

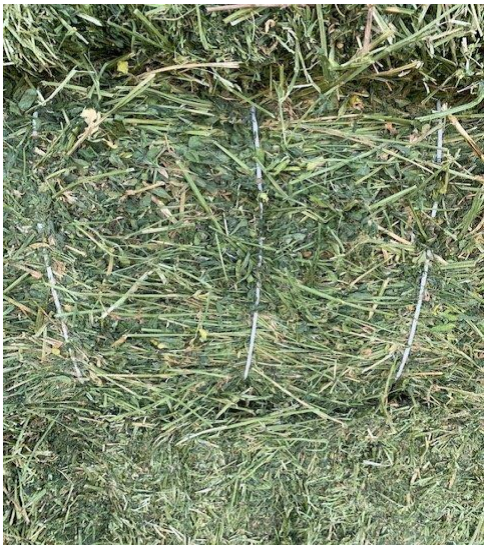
ノースダコタ州では霜による被害がありましたが影響は限定的で、現在では冷涼な気候から一転し徐々に暖かくなっています。生育は若干遅れていましたが、適度な降雨と気候の回復に助けられ現在では例年並みまで持ち直しています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでは５月に入り１番刈の収穫作業を開始しましたが、この１ヶ月断続的に降雨があり収穫作業の進捗に影響が出ています。

コロンビアベースンの南部では、断続的な降雨により、収穫されたアルファルファには僅かな雨当たりのものから酷い雨当たりのものまで様々な品質のものが発生しています。降雨を避けられたアルファルファも刈遅れとなっており南部でのプレミアム品の発生は限定的です。中部から北部でも５月中旬から順次収穫作業が開始しています。こちらも南部同様不安定な天候により、雨当たりの被害が報告されています。産地ではまだ相場は出来上がっていないものの、プレミアム品の発生は限定的なため相場は堅調に推移しています。



（アルファルファ圃場と１番刈　コロンビアベースン中部　５月中旬撮影）

オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズでは１番刈の収穫が６月上旬から開始されています。産地は春先からの水不足で旱魃傾向にあり６月以降に農業用水の利用を制限される地域も発生する見込みです。

オレゴン州中部クリスマスバレーでは多くの生産者で地下水を利用しているため、旱魃による水不足の問題は無くアルファルファを栽培しています。スケジュールの早い生産者では６月中旬頃から１番刈の収穫を開始する予定です。

ネバダ州・ユタ州

ネバダ州西部のイエリントン周辺では現在１番刈の収穫が開始されています。

一部の圃場ではベーリング作業も進んでいますが、同地域でもワシントン州と同様に断続的な降雨に見舞われており収穫作業に遅れがでています。

ユタ州では５月下旬から１番刈の収穫作業が開始されており順調に進捗しています。６ 月上旬に降雨の予報が出ているため注視が必要です。中国からの高成分品アルファルファに対する需要は旺盛であり産地相場は堅調に推移しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、３ 番刈の終盤を迎えており、一部の生産者では４番刈を開始しています。産地ではすでに気温が４０℃前後まで上昇しているため、成分が下がっておりプレミアム品の発生は少なくなっています。

米国産チモシー

主産地であるコロンビアベースンでは比較的冷涼な気候が続いておりチモシーの生育は良好です。当初５月末から収穫の開始が予定されていましたが、天候の安定を待って、６月上旬から開始しています。エレンズバーグでは６月中旬から下旬にかけて収穫作業が開始する予定です。

他方で今年１月に米国と中国との間で包括的な貿易協定の第１段階（フェーズ 1）が署名されており、この中には米国産チモシーの中国への輸出解禁についても記載されています。１ 月以降、両国で協議が進められ５月に正式にチモシーの輸出について協定書が結ばれました。今後米国の各輸出業者は中国当局への申請と USDA（米国農務省）からの承認を経て正式にチモシーの輸出を開始する予定となっています。

スーダングラス

主産地であるインペリアルバレーでは一部の生産者で２０年産早播きスーダンの収穫が開始されています。春季の播種作業の遅れから早播きスーダンの収穫本格化は例

年より約２-３週間遅い６月中旬から下旬になることが見込まれています。この収穫の遅れにより上級品の発生減少やブラウンリーフの混入したスーダンの発生が例年よりも多くなる可能性が懸念されています。

産地灌漑局によると６月１日時点のスーダンの作付面積は昨年比９５％の 41,970 エーカーとなっており今後 42,000 エーカーから 45,000 エーカーまで作付けされることが見込まれており、総作付面積は１９年産並みになると予想されています。

（スーダン圃場　インペリアルバレー　５月下旬撮影）

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

多くの生産者で１番刈の収穫を終えており、現在２番刈の収穫が行われています。例年 1 番刈は良品多く発生する傾向にありますが、２０年産は雑草の混入や収穫期の降雨により収穫を中断した圃場もあったため刈遅れ品が発生しており、良品の発生が少なくなっています。

２番刈は乾燥した気候のもと順調に収穫が進んでおり多くの良品の発生が期待されています。スケジュールの早い生産者は２週間後に３番刈を開始する予定です。

（２番刈クレイングラス圃場　５月下旬撮影）

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

日本からのストロー需要は引き続き堅調です。現地の１９年産は完売となっております。２０年産については順調に生育していますが、作付面積減少に伴い生産量の減少が予想されているため産地相場も堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

20 年産の作付面積につきましては、19 年産とほぼ同水準になると予想されています。アルバータ州中部のクレモナでは、生産効率向上と人件費削減のため、これまで活用していたスモールベールのベーリングマシンからビッグベールマシンへ移行する生産農家が増えています。

豪州産オーツヘイ／ウィートストロー

播種は順調に進み多くの地域でオーツヘイの作付けを終えています。

東豪州を中心に播種前の良いタイミングで降雨があったため、適度な土壌水分を含み作付することができました。西豪州では当初降雨の不足が心配されていましたが、５月下旬に降雨があったため状況は好転しています。全豪的に理想的なタイミングで作付けが出来ており、且つ雨にも恵まれたため収穫期に向け順調な生育が期待されています。２０年産の生産が順調にスタートしていることから、国内需要は年始に比べると落ち着いています。

豪州コンテナ船情勢

COVID-19 の影響及び政治的背景もあり、引き続き中国-豪州間の本船が減便されています。このことから豪州各港で空コンテナが不足しています。特に南豪州の空コンテナ不足は顕著で、産地の輸出業者は出荷に合わせ他の港から空コンテナを横持ちして対応しています。現在のところ空コンテナ不足による大幅な遅延は発生しておりませんが、徐々に確保が難しくなっていることから、今後の状況に注視が必要です。

以　上

A飼料

乳脂肪対策に！

デイリーパル 98

パルミチン酸が決め手！

包装：25kg紙袋

通常 5,481円⇒

¥4,973－（税抜き）

☆飼料の種類：飽和脂肪酸

☆特長

高パルミチン酸

パルミチン酸を98％以上含有し、嗜好性にも優れています

高エネルギー

植物性油脂由来で高いエネルギーです

高作業性

サラサラとしたビーズ状で飼料に混合しやすい

生産性の向上

9月末までの組合員向けキャンペーン価格

包材

25kg/袋

ビーズ状

お問い合わせは… >>

全酪連　近畿事務所　：0794－62－5441

Your Partner 全酪連

フルカラー版は組合ホームページからご覧いただけます。